



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月2日

上場会社名 日東化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂下 尚彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部所管 (氏名) 楢野 卓也

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,894	12.3	20	53.1	18	75.8	8	82.6
2022年3月期第2四半期	1,687	9.1	44		74		51	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	2.32	
2022年3月期第2四半期	13.39	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	6,002	2,929	48.8	763.47
2022年3月期	5,983	2,940	49.1	766.37

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 2,929百万円 2022年3月期 2,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日を基準日とする配当予想額は未定であります。

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	1.2	100	64.8	90	16.7	55	38.0	14.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,840,000 株	2022年3月期	3,840,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,518 株	2022年3月期	2,518 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,837,482 株	2022年3月期2Q	3,837,482 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大等の影響を受けながらも、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しの傾向となりました。しかしながら、ウクライナ情勢等による資源価格や原油価格の高騰のほか、急速な円安の進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社においても、引き続き今後の国内外の感染動向による影響や、原材料・エネルギー価格の高騰に留意が必要な状況となっております。

このような環境下、売上高につきましては、新規案件の受注等により前年同期比増収となりました。一方、利益面におきましては、2022年4月に公表いたしました第1ステージ新中期経営計画の基本方針に沿った取り組みを実施し、新規案件受注の拡大、コスト削減施策については、効果が一部発現しております。しかしながら、原材料・エネルギー価格の大幅な高騰の影響を新中計施策の効果および販売価格是正の取り組み等では吸収できず、前年同期比減益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,894百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益20百万円（前年同期比53.1%減）、経常利益18百万円（前年同期比75.8%減）、四半期純利益8百万円（前年同期比82.6%減）となりました。

（セグメント別の状況）

（コンパウンド事業）

ゴムコンパウンドにおける受注が堅調に推移したこと等により、コンパウンド事業全体として前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期を60百万円上回る1,007百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

（ゴム加工事業）

ゴムシートにおける新規案件の受注に加え、ゴムマットではブラックターフの受注が好調に推移したことにより、ゴム加工事業全体として前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期を145百万円上回る874百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は6,002百万円となり、前期末に比べ18百万円増加しました。流動資産は、主に売上債権が増加したことにより、前期末に比べ106百万円増加しました。固定資産は、主に設備投資額の減少により、前期末に比べ88百万円減少しました。

負債は3,072百万円と、前期末に比べ29百万円増加しました。流動負債は、主に営業買入債務が増加したことにより、前期末に比べ35百万円増加しました。固定負債につきましては概ね前期末並みとなりました。

純資産は2,929百万円と、前期末に比べ11百万円減少しました。これは当第2四半期累計期間における四半期純利益による増加はあるものの、主に配当金の支払いによるものです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、150百万円の支出（前年同期は227百万円の収入）となりました。これは主に売上債権が増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、42百万円の支出となり、前年同期に対し11百万円の支出減となりました。これは主に、設備投資の支払い額の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、30百万円の支出となり、前年同期に対し19百万円の支出増となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は303百万円となり、前年同期末に比べて292百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年4月27日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527	303
受取手形及び売掛金	1,820	2,060
商品及び製品	315	356
仕掛品	58	60
原材料及び貯蔵品	91	98
その他	351	391
流動資産合計	3,164	3,271
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	468	444
機械及び装置（純額）	535	487
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	2	14
その他（純額）	138	123
有形固定資産合計	2,721	2,645
無形固定資産		
その他	9	7
無形固定資産合計	9	7
投資その他の資産		
投資有価証券	19	18
関係会社株式	16	16
繰延税金資産	35	29
その他	17	14
投資その他の資産合計	88	78
固定資産合計	2,819	2,731
資産合計	5,983	6,002
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,003	1,128
短期借入金	1,190	1,190
1年内返済予定の長期借入金	20	20
リース債務	2	2
未払法人税等	59	9
賞与引当金	64	54
その他	232	201
流動負債合計	2,572	2,607
固定負債		
長期借入金	10	—
リース債務	2	1
退職給付引当金	440	443
役員退職慰労引当金	10	13
資産除去債務	7	7
固定負債合計	470	465
負債合計	3,042	3,072

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	1,020	1,010
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,938	2,927
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	1
評価・換算差額等合計	2	1
純資産合計	2,940	2,929
負債純資産合計	5,983	6,002

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,687	1,894
売上原価	1,363	1,599
売上総利益	323	295
販売費及び一般管理費	279	274
営業利益	44	20
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	0
その他	33	8
営業外収益合計	35	9
営業外費用		
支払利息	4	3
その他	0	7
営業外費用合計	5	11
経常利益	74	18
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税引前四半期純利益	74	16
法人税、住民税及び事業税	27	1
法人税等調整額	△4	6
法人税等合計	22	7
四半期純利益	51	8

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	74	16
減価償却費	116	114
固定資産除却損	0	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△10
受取利息及び受取配当金	△2	△0
支払利息	4	3
売上債権の増減額 (△は増加)	4	△240
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△38	△50
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	0	△35
仕入債務の増減額 (△は減少)	70	125
未払費用の増減額 (△は減少)	4	4
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△21	△32
その他	△13	△1
小計	209	△98
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△1	△48
法人税等の還付額	14	—
その他	7	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	227	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△19
長期借入金の返済による支出	△10	△10
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	161	△223
現金及び現金同等物の期首残高	434	527
現金及び現金同等物の四半期末残高	595	303

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。